

推薦を受けた者又は応募した者の一覧（最終）

氏名	性別	年齢	職業		推薦を受けた者又は応募した者		推薦をする者（法人又は団体）				推薦をする者（個人）				推薦又は応募の理由								
			漁業種類	操業区域	経歴	漁業者又は漁業従事者であるか否かの別	名称	代表者名	設立目的・活動内容	構成員の資格	構成員数	氏名	性別	年齢		職業							
濱中一茂	男	57	漁業者	棒受け網漁業 一本釣り漁業 刺し網漁業	遊木地先 熊野灘	昭和57年3月 熊野市立荒坂中学校卒 昭和57年4月 遊木浦漁業協同組合正組員 平成23年9月～平成24年7月 熊野漁業協同組合理事 平成24年8月～現在 熊野漁業協同組合副組合長 平成25年7月～平成29年3月 三重県漁船保険組合理事	漁業者	熊野漁業協同組合	濱田徳光	組合運営の効率化を目指し平成13年4月に熊野市にあった6つの漁協が合併して設立された組合で水協法に依る事業を行っております。	漁業者、漁業従事者及び組合の施設を利用する者	143名			濱中一茂氏は長年、棒受け網漁に従事しさらに近年におきましては、刺し網漁も行い熊野地区の漁業の状況を詳しく理解しております。 また、平成23年に熊野漁業協同組合の理事に就任され、平成24年から現在にいたるまで副組合長を務めておられます。さらに外部の関係機関におきましては、日本漁船保険組合となる前三重県漁船保険組合の理事も務め、三重県漁業協会の会長として、現在も活動しておられます。 このようなことから経験と知識が豊富で地元の組合員からの信頼も厚く、熊野漁業協同組合を代表する人物と言えますので、三重県漁業調整委員会委員に推薦いたします。								
矢田和夫	男	70	漁業者	黒のり養殖業 採貝漁業 ばち網漁業	伊勢湾内	昭和49年 4月～現在 平成26年11月～現在 平成26年11月～現在 平成26年12月～現在 平成27年 6月～現在 令和元年 8月～現在 令和元年 8月～現在	漁業者	四日市市漁業協同組合	川村誠	組合員が協同して経済活動を行い、漁業の生産能力を高め、もって組合員の経済的社会的地位を高めることを目的とする。 実施事業：販売事業、購買事業、指導事業その他	組合員が協同して経済活動を行い、漁業の生産能力を高め、もって組合員の経済的社会的地位を高めることを目的とする。 実施事業：販売事業、購買事業、指導事業その他	正組員及び准組員	411名			氏は、卒業終了後、黒のり養殖業や採貝、ばち網漁業に従事し、養殖技術の確立の他、イワン類や貝類の資源管理等に取り組み、鈴鹿地区の漁業経営の安定に力を注いでいる。その漁業に取り組み真摯な姿勢は地域組合員の信頼を集め、鈴鹿市漁業協同組合代表理事組合長、三重県漁業協同組合連合会理事等に就任し現在に至っている。 また、氏は三重県漁業調整委員会に就任中、漁業調整の際には、その長年の漁業操業等により蓄積された経験に基づき、適切で有効な意見等を述べその責務を果たしている。 氏の豊富な経験を漁業調整に生かすことで、漁業生産の発展を期待できることから、ここに推薦致します。							
																	赤須賀漁業協同組合	水谷隆行	組合員が協同して経済活動を行い、漁業の生産能力を高め、もって組合員の経済的社会的地位を高めることを目的とする。 実施事業：販売事業、購買事業、指導事業その他	組合員が協同して経済活動を行い、漁業の生産能力を高め、もって組合員の経済的社会的地位を高めることを目的とする。 実施事業：販売事業、購買事業、指導事業その他	正組員及び准組員	63名	氏は、卒業終了後、黒のり養殖業や採貝、ばち網漁業に従事し、養殖技術の確立の他、イワン類や貝類の資源管理等に取り組み、鈴鹿地区の漁業経営の安定に力を注いでいる。その漁業に取り組み真摯な姿勢は地域組合員の信頼を集め、鈴鹿市漁業協同組合代表理事組合長、三重県漁業協同組合連合会理事等に就任し現在に至っている。 また、氏は三重県漁業調整委員会に就任中、漁業調整の際には、その長年の漁業操業等により蓄積された経験に基づき、適切で有効な意見等を述べその責務を果たしている。 氏の豊富な経験を漁業調整に生かすことで、漁業生産の発展を期待できることから、ここに推薦致します。
																	白塚漁業協同組合	橋本信満	組合員が協同して経済活動を行い、漁業の生産能力を高め、もって組合員の経済的社会的地位を高めることを目的とする。 実施事業：販売事業、購買事業、指導事業その他	組合員が協同して経済活動を行い、漁業の生産能力を高め、もって組合員の経済的社会的地位を高めることを目的とする。 実施事業：販売事業、購買事業、指導事業その他	正組員及び准組員	88名	氏は、卒業終了後、黒のり養殖業や採貝、ばち網漁業に従事し、養殖技術の確立の他、イワン類や貝類の資源管理等に取り組み、鈴鹿地区の漁業経営の安定に力を注いでいる。その漁業に取り組み真摯な姿勢は地域組合員の信頼を集め、鈴鹿市漁業協同組合代表理事組合長、三重県漁業協同組合連合会理事等に就任し現在に至っている。 また、氏は三重県漁業調整委員会に就任中、漁業調整の際には、その長年の漁業操業等により蓄積された経験に基づき、適切で有効な意見等を述べその責務を果たしている。 氏の豊富な経験を漁業調整に生かすことで、漁業生産の発展を期待できることから、ここに推薦致します。
																	伊勢湾漁業協同組合	杉田英男	組合員が協同して経済活動を行い、漁業の生産能力を高め、もって組合員の経済的社会的地位を高めることを目的とする。 実施事業：販売事業、購買事業、指導事業その他	組合員が協同して経済活動を行い、漁業の生産能力を高め、もって組合員の経済的社会的地位を高めることを目的とする。 実施事業：販売事業、購買事業、指導事業その他	正組員及び准組員	404名	氏は、卒業終了後、黒のり養殖業や採貝、ばち網漁業に従事し、養殖技術の確立の他、イワン類や貝類の資源管理等に取り組み、鈴鹿地区の漁業経営の安定に力を注いでいる。その漁業に取り組み真摯な姿勢は地域組合員の信頼を集め、鈴鹿市漁業協同組合代表理事組合長、三重県漁業協同組合連合会理事等に就任し現在に至っている。 また、氏は三重県漁業調整委員会に就任中、漁業調整の際には、その長年の漁業操業等により蓄積された経験に基づき、適切で有効な意見等を述べその責務を果たしている。 氏の豊富な経験を漁業調整に生かすことで、漁業生産の発展を期待できることから、ここに推薦致します。
																	伊勢湾漁業協同組合	清水三千春	組合員が協同して経済活動を行い、漁業の生産能力を高め、もって組合員の経済的社会的地位を高めることを目的とする。 実施事業：販売事業、購買事業、指導事業その他	組合員が協同して経済活動を行い、漁業の生産能力を高め、もって組合員の経済的社会的地位を高めることを目的とする。 実施事業：販売事業、購買事業、指導事業その他	正組員、准組員	6,993名	田邊氏は、三重外海漁業協同組合設立当時より理事を務め、今日まで漁協経営と若年漁業者への指導を熱心に努めている。また、三重県の系統団体の役員を歴任するなど、県内漁業の情勢についても熟知しています。 このような経験を責め、三重県漁業協会の会長をはじめ、志摩市創生にかかわる委員を務めるなど、漁業のさらなる地域産業創生のアドバイザー的存在として活躍しています。また、令和3年4月からは三重県漁業調整委員として三重県下の漁業調整に尽力されている。以上により、三重県漁業の調整役として大いに期待でき、適任として推薦するものであります。
田邊善郎	男	60	漁業者	一本釣り漁業	熊野灘	昭和57年 4月～現在 平成14年 7月～平成16年 6月 平成22年 2月～現在 平成25年 4月～平成27年 6月 平成29年 4月～現在 平成27年 6月～現在 平成30年 7月～現在 令和 2年 9月～現在 令和 3年 4月～現在 令和 6年 6月～現在	漁業者	三重外海漁業協同組合	清水三千春	水産業協同組合	正組員、准組員	6,993名			田邊氏は、三重外海漁業協同組合設立当時より理事を務め、今日まで漁協経営と若年漁業者への指導を熱心に努めている。また、三重県の系統団体の役員を歴任するなど、県内漁業の情勢についても熟知しています。 このような経験を責め、三重県漁業協会の会長をはじめ、志摩市創生にかかわる委員を務めるなど、漁業のさらなる地域産業創生のアドバイザー的存在として活躍しています。また、令和3年4月からは三重県漁業調整委員として三重県下の漁業調整に尽力されている。以上により、三重県漁業の調整役として大いに期待でき、適任として推薦するものであります。								
浅井利一	男	79	漁業者	ふくはえ縄漁業 刺し網漁業	伊勢湾 伊勢湾口 遠州灘	昭和35年 4月～現在 平成 6年 3月～平成14年 7月 平成14年 7月～平成22年 1月 平成15年 8月～現在 平成19年 3月～令和 5年 3月 平成20年 8月～現在 平成22年 2月～令和 5年 3月 平成28年 4月～令和 5年 3月 平成28年 7月～令和 5年 3月 平成30年 6月～令和 5年 3月	漁業者	三重外海漁業協同組合	清水三千春	水産業協同組合	正組員、准組員	6,993名			浅井氏は、主にふくはえ縄漁業や刺し網漁業に従事し、特にトラフグの資源管理に積極的に取り組み、三重県、愛知県、静岡県のみくはえ縄漁業者による自主的な資源管理体制の構築を図るとともに、「あのりふく」を通じた地域水産物のブランド化に取り組みすることで魚価の向上に努め、地域水産物の振興発展に大きく貢献している。一方、漁協経営にも参加し、旧漁協から28年にわたり理事を務められ、平成28年4月には、組合長として漁協経営と牽引してきた。また、平成20年より三重県漁業調整委員として、三重県下の漁業調整に尽力されている。以上により、適任として推薦するものであります。								
小川和久	男	75	漁業者	小型定置網漁業	共同漁業権漁場内	昭和40年 4月～昭和41年 9月 昭和41年10月～昭和46年10月 昭和46年10月～現在 平成20年 6月～平成22年 1月 平成27年 6月～現在 平成28年 8月～現在 令和 6年 4月～現在 令和 3年 7月～現在 平成28年 7月～現在	漁業者	三重外海漁業協同組合	清水三千春	水産業協同組合	正組員、准組員	6,993名			小川氏は漁業者として55年の経験を持ち、現在は小型定置網を営んでおり、地域漁業を牽引している。平成27年6月からは三重外海漁業協同組合の理事として地域の漁業者をまとめ、平成28年8月からは三重県漁業調整委員として三重県下の漁業調整について尽力されている。また、現在、地元長島地区の産地協議会の会長として、長島地区の産地振興にリーダーとして取り組んでいる。以上、適任であるので推薦するものであります。								
辻本寛一	男	57	漁業者	魚類養殖業	区画漁業権漁場内	昭和58年 4月～平成19年 5月 平成19年 6月～現在 平成27年 6月～現在 平成30年 6月～令和 6年 6月 令和 3年 7月～現在	漁業者	三重外海漁業協同組合	清水三千春	水産業協同組合	正組員、准組員	6,993名			辻本氏は魚類養殖業に約40年にわたって従事し、平成19年からは魚類養殖経営を株式会社化して代表取締役として、地域のリーダーとして活躍されている。また、三重外海漁協の理事として、合併後の多くの課題の解決に尽力され、地域の漁業者からは信頼も厚く、円滑な漁協運営の実現に貢献している。更に、東日本信濃三重工支店の運営委員として、県下漁業者の経営安定に向け尽力している。以上、漁業経営にかかわる見識と三重外海漁協の理事として地域をまとめており、適任として推薦するものであります。								

濱田浩孝	男	60	漁業者	定置網漁業	定置漁業権漁場内	昭和57年 3月 昭和59年 9月 昭和59年 4月～昭和59年12月 昭和60年 4月～平成元年 3月 平成元年 4月～現在 平成19年 4月～平成30年 8月 平成24年2月～現在 令和 3年6月～現在 令和 3年6月～現在 令和 3年6月～現在	三重県立尾鷲高等学校商業科卒業 名古屋法律経済専門学校経理科卒業 ハイウェイエンジニアリング(株) 名古屋オートグラフィックス(株) 定置網漁業 尾鷲漁業協同組合 理事 尾鷲漁業協同組合 理事 三重県指導漁業士 三重外海漁業協同組合 理事 三重海区漁業調整委員 三重県漁業協同組合連合会 監事	漁業者	三重外海漁業協同組合	清水三千春	水産業協同組合	正組合員、准組合員	6,993名					濱田氏は漁業に従事してから38年が経過し、現在は定置網漁業を営み、地域漁業の中核的な役割を果たしている。また、漁業者のリーダーとして合併前の尾鷲漁協の理事を11年間務められ、漁協経営に参画し、合併後は総代、地区漁業管理委員、現在は、理事として漁業の活発化に取り組んでいる。平成24年からは三重県指導漁業士として、地域のみならず県下で幅広く活躍されている。また、令和3年4月からは三重海区漁業調整委員として三重県下の漁業調整について尽力されている。以上、適任であるので推薦するものであります。
木下和行	男	69	鳥羽磯部漁業協同組合 代表理事組合長	一本釣漁業 黒海苔養殖漁業	伊勢湾 伊勢湾口	昭和45年 3月 昭和45年 4月～ 平成13年 3月～平成14年 9月 平成18年 8月～平成24年 7月 平成24年 6月～令和 3年 6月 平成26年 7月～ 平成28年 4月～ 令和 3年 6月～令和 6年 6月 令和 3年 6月～ 令和 6年 6月～ 令和 6年 6月～	鳥羽市立菅島中学校 卒業 漁業に従事 菅島漁業協同組合 理事就任 鳥羽地区黒のり養殖研究協議会 会長就任 鳥羽磯部漁業協同組合 理事就任 三重県黒のり養殖研究会 会長就任 全国浅海増殖研究中央協議会 理事就任 鳥羽磯部漁業協同組合 副組合長就任 三重県漁業協同組合連合会 理事就任 鳥羽磯部漁業協同組合 組合長就任 三重県JF共済推進本部 推進本部会長就任	漁業者	鳥羽磯部漁業協同組合	木下和行	平成14年10月1日 22の漁協が合併し、鳥羽磯部漁業協同組合として新組合を設立する。組合員が協同して経済活動を行い、漁業生産能力を上げてもらって組合員の経済的社会的地位を高める。	地区内に住所を有し、かつ1年を通じて90日を超えて漁業を営み又はこれに従事する漁民など	正組合員576名 准組合員1,310名				木下和行氏は、一本釣漁業ほか黒海苔養殖漁業を54年間従事し、菅島地区を始め、伊勢湾及び湾口域での漁業操業の状況や水産資源評価・管理などの状況を把握しています。また鳥羽磯部漁業協同組合の代表理事組合長を務め、小型底曳網漁業、刺網漁業、蛸電漁業、海女漁業、黒海苔養殖、青海苔養殖、かき養殖、わかめ養殖漁業など地域内の各種漁業に関し、漁業者と連携して資源管理や漁獲改善の取組に貢献した経験があります。三重県漁業の発展のためには、水産資源の適切な管理、持続可能な漁業振興、調査研究の協力など、地域の漁業者から信頼が厚く、鳥羽磯部管内を代表とする存在であり、豊富な経験の下に有益な提案をされることを期待されることから、委員に推薦するものです。	
濱口利貴	男	53	鳥羽磯部漁業協同組合 常務理事	黒海苔養殖漁業 一本釣漁業	伊勢湾 伊勢湾口	平成 2年 3月 平成 2年 4月～ 令和 3年 6月～令和 6年 6月 令和 6年 6月～ 令和 6年 6月～ 令和 6年 7月～	三重県立鳥羽高等学校 卒業 漁業に従事 鳥羽磯部漁業協同組合 理事就任 日本漁協保険組合 三重支所 理事就任 鳥羽磯部漁業協同組合 常務理事就任 三重県漁業協同組合連合会 理事就任 全国漁業信用基金協会 三重支所 理事就任	漁業者	鳥羽磯部漁業協同組合	木下和行	平成14年10月1日 22の漁協が合併し、鳥羽磯部漁業協同組合として新組合を設立する。組合員が協同して経済活動を行い、漁業生産能力を上げてもらって組合員の経済的社会的地位を高める。	地区内に住所を有し、かつ1年を通じて90日を超えて漁業を営み又はこれに従事する漁民など	正組合員576名 准組合員1,310名				濱口利貴氏は、黒海苔養殖漁業に34年間従事し、管志地区を始め、伊勢湾及び湾口域での漁業操業の状況を熟知しています。また鳥羽磯部漁業協同組合の常務理事を務め、小型底曳網漁業、刺網漁業、一本釣漁業、蛸電漁業、海女漁業、黒海苔養殖、青海苔養殖、かき養殖、わかめ養殖漁業など地域内の各種漁業の意見をまとめ上げ、公平な判断力かつ優れた調整能力を有し、地域の漁業者から信頼が厚い人物です。鳥羽磯部管内を代表とする存在であり、三重県の漁業の発展のため、客観的な考えの下に委員を務めることが期待されることから、委員に推薦するものであります。	
倉島彰	男	60	国立大学法人 教員			昭和56年 4月～昭和62年 3月 昭和62年 4月～昭和63年 3月 昭和63年 4月～平成 2年 3月 平成 2年 4月～平成 5年 3月 平成 5年 4月～平成 9年 3月 平成 9年 4月～平成19年 3月 平成19年 4月～平成26年10月 平成26年11月～令和 2年 2月 令和 6年 3月～現在に至る	筑波大学第二学群生物学類 学士課程 筑波大学第二学群生物学類 研究生 東京水産大学大学院 修士課程 三井製薬工業株式会社生物科学研究所 東京水産大学大学院 博士後期課程 三重大学生物資源学部・助手 三重大学大学院生物資源学研究所・助教 三重大学大学院生物資源学研究所 准教授 三重大学大学院生物資源学研究所・教授	否					古丸明	男	66	国立大学法人 教員	倉島彰氏は、東京水産大学にて学位取得以来、現在に至るまで一貫して大型藻類の生理生態に関する研究に従事してこられました。特に三重県沿岸域を中心にアマモ類やアラメ・カジメ類の生理生態調査、近年問題となっている磯焼け海域の生態やその対策等、常に海の現場で漁業者も交えて調査を展開し、優れた業績をあげておられます。また、地域の漁業家にも連絡が深く、三重県の海洋環境や海洋生物全般に深い知識と幅広い経験をお持ちです。このため、三重海区漁業調整委員会の学識委員として、倉島彰氏が適任であると確信しますので、ここに推薦いたします。	
千田良仁	男	48	大学教員			平成13年 4月～平成16年 3月 平成16年 4月～平成21年 3月 平成21年 4月～平成23年 3月 平成23年 4月～現在に至る 平成23年 9月～ 平成27年 4月～平成30年 3月 平成30年 4月～現在に至る	京都大学大学院農学研究科(博士課程)生物資源経済学専攻 単位取得退学 株式会社UPJ総合研究所 研究員 株式会社アミタ持続可能経済研究所 上級研究員 株式会社アミタ 代表取締役 東京大学農学生命科学研究科講師 皇學館大学教育開発センター 准教授 皇學館大学現代日本社会学部教授	否	皇學館大学	河野訓	一、わが国の歴史・伝統を継承・究明・応用して社会の要請に応える学園の創造 二、神道精神に基づく人間性豊かな立派な日本人の育成 三、自立心に富み、社会の各領域においてリーダーとして貢献できる人材の育成		191名			千田良仁本学特命教授は、大阪府立大学農学部を卒業し、京都大学大学院農学研究科生物資源経済学専攻で農業修士を取得後、同大学院博士課程へ進み、平成16年3月に単位取得退学しています。その後、東京大学農学生命科学研究科特任研究員となり、平成23年9月から翌年9月まで、同研究科で「海洋アライアンス特講」を担当した。また、平成19年8月から現在まで日本水産学会会員であり、平成22年4月から現在まで国際漁業学会の会員でもある。この経歴から明らかによろしく、同教授は漁業に関する専門知識を有している。		
松田浩一	男	61	国立大学法人 教員			昭和57年 4月～昭和61年 3月 昭和61年 4月～平成 4年 3月 平成 4年 4月～平成 7年 3月 平成 7年 4月～平成11年 3月 平成17年 3月 平成11年 4月～平成24年 3月 平成24年 4月～平成28年 3月 平成28年 4月～平成29年 3月 平成29年 4月～令和 2年 3月 令和 2年 4月～現在に至る	京都大学 学士課程 三重県水産技術センター 増殖部 研究員 三重県農林水産部漁政課 技師 三重県科学技術振興センター 水産技術センター 研究員 京都大学 博士(農学) 三重県科学技術振興センター 水産技術センター 主任研究員 三重県水産研究所 主幹研究員 三重県農林水産部水産経営課 課長補佐兼漁協班班長 三重県水産研究所尾鷲水産研究室 総括研究員兼室長 三重大学大学院生物資源学研究所 教授	否							私は、大学において水産業を修め、その後は三重県庁において水産研究や水産行政に34年間従事し、イセエビやアワビ類などの資源管理や増養殖、水産振興に関わる業務を担いました。この間、様々な水産現場の状況や課題に研究者や行政官として直接接し、多くの知識や経験を積むとともに、課題の解決のための調査研究を行いました。これらの活動を通じて得た専門知識や研究成果を、日本水産学会等の学会や書籍、様々なシンポジウムで発表し、平成17年には博士(農学)の学位をえています。また、令和2年からは大学の教授として、水産資源管理の研究開発に携わるとともに、水産関係の法や振興策、水産生物の資源管理技術等に関する講義や卒業生指導等を学生に押し付け、将来の水産業を担う人材の育成に努めています。このような知識や経験を活用し、三重海区の水産資源の維持と沿岸漁業の持続的な発展のために貢献したいと考え、三重海区漁業調整委員委員に応募いたします。			
奥村卓二	男	60	国立研究開発法人 研究員			平成元年 4月～平成 4年 3月 平成 4年 4月～平成14年 4月 平成14年 5月～令和 2年 5月 令和 2年 6月～令和 5年 3月 令和 5年 4月～現在	東京大学大学院農学系研究科水産学専攻博士課程修了 水産庁日本海地区水産研究所資源増殖部 研究員 独立行政法人水産総合研究センター増養殖研究所 主幹研究員 国立研究開発法人水産研究・教育機構水産技術研究所 生理機能部長 国立研究開発法人水産研究・教育機構水産技術研究所 養殖部門副部門長	否								これまで32年間、国の水産研究機関に所属し、養殖と資源増殖に関する研究開発を通じて水産業振興に尽力するとともに水産行政に協力してきました。三重県に対しても県の機関と協力して地域の資源増殖に取り組んできました。さらに三重県水産研究所研究評価委員を2年間務め、三重県水産研究所の研究開発を通じて三重県の沿岸漁業、資源、増殖、養殖などの状況について把握しています。これまでの知識と経験を活かして三重海区の水産資源と沿岸漁業の持続的な発展のために貢献したいと考えています。		
中川かおり	女	49	弁護士			平成 6年 4月～平成13年 3月 平成18年 4月～平成19年 9月 平成19年 9月～平成21年 6月 平成21年 7月～平成25年 3月 平成25年 4月～平成29年 6月 平成29年 7月～令和 4年 3月 令和 4年 4月～現在 令和 4年 4月～現在	名古屋大学法学部 司法修習生 弁護士登録・木村法律事務所 中川法律事務所開設 石脇法律事務所 三重県産業支援センター 橋井法律事務所 桑名市短時間任期付公務員	否					木村那津子	女	38	弁護士	中川かおり氏は、平成19年に弁護士登録を行い、約17年間にわたり弁護士としての業務に尽力してきた。その一方で、三重県産業支援センター、桑名市の短時間任期付公務員、鈴鹿市の家庭・女性相談など、その経験は多岐にわたっている。海区委員として、弁護士としての専門的な知識・経験のみならず、漁業に関する知見を含めた広い視野に基づき職務を行うことが期待でき、本人の意欲も高いことから、海区漁業調整委員委員として推薦を行う。	
木村那津子	女	38	弁護士			平成22年 4月～平成24年 3月 平成24年11月～平成25年12月 平成25年12月～令和 4年11月 平成26年12月～平成28年 3月 平成28年 4月～平成29年 3月 平成29年 7月～令和 4年11月 平成30年 7月～令和 4年11月 平成30年11月～令和 4年11月 平成31年 4月～令和 5年 3月 令和 2年10月～令和 3年 3月 令和 4年11月～現在	名古屋大学法科大学院 司法修習生 橋井法律事務所 三重県事業引継ぎ支援研究センター 総括責任者補佐 株式会社三重銀行 名張市情報公開・個人情報保護審査会委員 鈴鹿市子ども政策部子ども家庭支援課 桑名市環境審議会委員 三重短期大学非常勤講師 木曾崎町空家等対策協議会委員 ロートニッテン株式会社	否								わたしは、平成25年12月に弁護士登録を行い、約11年間にわたり弁護士としての業務に尽力してきた。その一方で、名張市情報公開・個人情報保護審査会委員をはじめ、多くの行政委員も歴任し、その経験は多岐に亘る。また、現在、三重海区漁業調整委員委員を務めており、三重県の漁業を取り巻く環境と現状について理解している。この経験を活かし、引き続き三重海区の水産資源の維持と漁業の持続的な発展のために貢献したいと考える。		